

## 多目的コホート研究における病理組織の収集と腫瘍の分子情報を用いたがんの原因究明に関する研究のお知らせ

神奈川県立保健福祉大学ヘルスイノベーション研究科では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間	2022年8月24日～2025年1月14日
研究課題	多目的コホート研究における病理組織の収集と腫瘍の分子情報を用いたがんの原因究明に関する研究
研究の概要	<p>目的及び意義：</p> <p>多目的コホート研究は、生活習慣とがんなどとの関連を明らかにするための大規模コホート研究であり、調査票による生活習慣の把握、精度の高いがん登録体制を構築し、20年以上の追跡調査を行ってきた。前向きコホート研究のデータを用いることにより、がんが発生する前の生活習慣情報が得られるため、腫瘍サブタイプ別のリスク要因を検討できる。大規模コホート研究で、腫瘍組織を分子病理学的に解析し、リスク要因との関連を検討するのは、日本において初めての試みであり、日本人のがん予防につながるエビデンスを提示できる可能性がある。</p> <p>対象：</p> <p>多目的コホート研究の対象地域である岩手県二戸、秋田県横手、長野県佐久、沖縄県中部、東京都葛飾（以上1990年開始のコホートⅠ）、茨城県水戸、新潟県長岡、高知県中央東、長崎県上五島、沖縄県宮古、大阪府吹田（以上1993年開始のコホートⅡ）の11保健所管内に、研究開始時点で居住していた、約14万人のうち、生活習慣に関するアンケート調査票への回答が得られた約11万人を、本研究の対象者とする。但し、本研究の追跡開始後に判明した不適格者（日本国籍を有さない者、ベースライン時の対象地域外居住者、年齢不適者）、追跡拒否者、本研究での試料等の利用を拒否した者は対象から除外する。</p> <p>方法：</p> <p>研究デザインは、コホート研究である。多目的コホート研究データを用い、1)生活習慣などリスク・予防要因とがんとの関連、ならびに、2)リスク・予防要因とがんの予後との関連が、分子マーカーによる腫瘍サブタイプで異なるかを検討する。</p> <p>本研究では、統計解析方針の決定や結果の解釈、データ解析を担当する。データ解析は、神奈川県立保健福祉大学大学院および国立がん研究センターにて行う。</p>
研究組織	<p>【研究代表者】</p> <p>岩崎 基 国立がん研究センター 部長</p> <p>【研究分担者】</p> <p>口羽 文 神奈川県立保健福祉大学ヘルスイノベーション研究科 准教授 他</p>

個人情報の取扱い	<p>本学にてデータを閲覧、解析するものは申請者のみである。また、本学で扱う解析データは、本研究専用に研究番号が割り振られており、個人を特定できる情報は含まれていない。</p> <p>本研究で取り扱う個人情報については、多目的コホート研究における個人情報保護・安全管理マニュアルにしたがって、対象者に危険・不利益が及ばないように厳格に管理されている。病理標本も同様に匿名化した番号で管理されており、個人を特定できる情報等是对応表を用いてのみ連結可能な状態で管理されている。コホート ID と個人情報との対応表は、国立がん研究センターの多目的コホート研究チームにおいて、国立がん研究センター内にパスワード管理のもと研究用データベースとは独立したデータベースに保管されている。申請者はこの情報にアクセスすることはできない。</p>
その他	

対象となる方で、研究の内容や、ご自身の検査結果などの研究への使用に関して、より詳しい情報をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。ご協力よろしくお願い申し上げます。

〔問い合わせ先〕

研究分担者：ヘルスイノベーション研究科 准教授 口羽 文

TEL : 044-589-8100 (代表)